機能ＩＤ	項番	枝番	機能名称	機能要件	実装区分	適合基準日
0120181	3.1.26.		大規模償却資産管理	地方税法（昭和二十五年法律第二百二十六号）第349条の４及び同法第349条の５の規定（大規模の償却資産及び新設大規模償却資産に対する課税標準の特例等）に基づき、大規模の償却資産及び新設大規模償却資産の課税標準額の算出ができること。	標準オプション機能	
0120182	3.1.27.	1	取得価額及び評価額の補正	固定資産評価基準第３章第１節十一に基づき、評価額の補正ができること。 また、同節十二の規定に基づき、取得価額の補正ができること。 補正の方法は以下のとおり。 評価額を強制修正する（手入力を前提としたもの。）。	実装必須機能	令和８年４月１日
0120183	3.1.27.	2		固定資産評価基準第３章第１節十一に基づき、評価額の補正ができること。 また、同節十二の規定に基づき、取得価額の補正ができること。 補正の方法は別表第六の機能ＩＤ0120184及び0120185のとおり。	標準オプション機能	
0120184	3.1.27.	3		評価額に対して一定の割合を乗じて補正する。	標準オプション機能	
0120185	3.1.27.	4		評価額から一定の価額を減額して補正する。	標準オプション機能	
0120186	3.1.28.	1	課税標準額、税額等の試算	償却資産課税台帳上の情報に基づいて、評価額、課税標準額、税額等の試算ができること。	実装必須機能（※）	
0120187	3.1.28.	2		試算結果を保存できること。	標準オプション機能	
0120188	3.1.29.		耐用年数管理	耐用年数の変更に対応できること（誤謬訂正・法令変更）。	実装必須機能	令和８年４月１日
0120343	3.1.30.	1	確定申告情報登録（ｅＬＴＡＸ連携）	ｅＬＴＡＸと連携して、所得税確定申告書等データ、法人税申告関連データを取り込み、管理（設定・保持・修正）できること。	標準オプション機能	
0120344	3.1.30.	2		ｅＬＴＡＸと連携して、所得税確定申告書等データを、税務システムからＨＵＬＦＴ連携機能（※）を利用して直接登録できること。 ※国税連携システムが提供する「ＨＵＬＦＴを利用した他サーバ連携機能」	標準オプション機能	
	4. 納税義務者管理					
	4.1. 納税義務者マスタ管理					